

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名				部課コード	810100		2998-9232
事業コード	小中学生文化スポーツ振興基金・補助金			担当部課	教育総務課		
810104				グループ	財務担当		

事業の概要	事業の種別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令		
	分野別計画・指針				所沢市小・中学生文化スポーツ振興補助金交付要綱 所沢市小中学生文化スポーツ振興基金条例		
	関連・類似事業						
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 学校教育	基本方針	健やかな体の育成		
事業開始の背景		近年、小・中学生の文化スポーツ活動が多様化し、その多くは運営主体が全国組織化されている。児童生徒がこれらの大会出場を目標に、活動に取り組むことは個性の伸長や創造性を育むこととなる。しかし、全国大会規模の大会に出場することは、保護者の負担も大きいため、その負担を軽減するとともに、小中学校における文化スポーツ活動の振興を図るために事業を開始した。					

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
	小・中学生の校外活動のうち、関東大会、全国大会等に参加するために要する経費を補助し、文化スポーツの振興及び保護者負担の軽減を図る。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)				対象数	単位	平成 26 年度 255 人			
	所沢市立小・中学校の児童生徒で、コンクール、発表会等の文化事業及び各種スポーツ大会などの校外活動に参加する者。						平成 27 年度 281 人			
事業の具体的な内容及び実施方法										
補助金の交付を受けようとする児童・生徒の在籍校の校長が教育委員会へ申請する。 大会終了後に、精算払いとして学校長へ支出す。 学校長から対象児童・生徒へ交付する。										

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		4,750	2,250	2,250
	決算(見込み含む)		3,956	1,873	
	(非常勤特別職員)(臨時の任用職員)		(0.00 人) (0.00 人) (0.00 人) (0.00 人)		
	正規職員人件費		0.07 人	610	0.13 人 1,126
	事業費合計		4,566	2,999	
	財源内訳	一般財源	1,217	2,999	1,450
	国・県支出金	0	0	0	0
	その他(小中学生文化スポーツ振興基金繰入金)	3,349	0	0	800

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	交付金額	支払金額 円	3,599,039	1,873,027	2,250,000	2,250,000
		補助金申請件数	大会出場校からの補助金申請件数 件	26	23	23	23

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	補助金交付割合	大会出場校からの補助金申請に対する交付件数 %	目標値 100	100	100	100
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています			実績 100	「実績」 <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 <input type="checkbox"/> 拡大図る	縮小図る
						どちらかをチェックしてください	

改善点	(1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	交通費に対する補助率を100%から50%に変更した。				-		

評価	評価	継続	事業実施方法(複数選択可)	□ 拡大	□ 縮小	理由	関東全国規模の大会になると遠方になることも多く、文化スポーツの振興のため継続的に実施していく。
		終了		改善・効率化	□ 現状維持		
	方向性	次年度予算	□ 拡大	□ 縮小	□ 現状維持	理由	毎年度同数規模の申請があるため、継続して実施する必要がある。
	(1) 平成28年度に取り組んでいる状況			(2) 今後の方向性			
	例年通り、補助金の申請に対して審査を行っている。			児童・生徒が一人一人の個性を伸ばし、創造性を育むためには、文化・スポーツ活動への取り組みは大変重要なことであるが、全国規模の大会に参加するために必要となる交通費や宿泊費等の経費の保護者負担は大きくなっている。本事業は、そのような保護者の負担を軽減することで、学校における文化スポーツの振興を図り、また成果をあげていることからも、今後も継続していく必要がある。			
	評価日	H28.8.16	評価者職氏名	教育総務課長 市川 雅美			

環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書作成、バス使用	規制を受ける環境法令等	無
						緊急事態	無